

経営比較分析表（令和5年度決算）

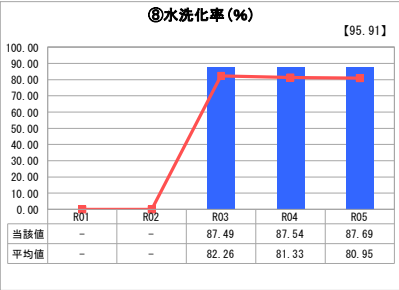
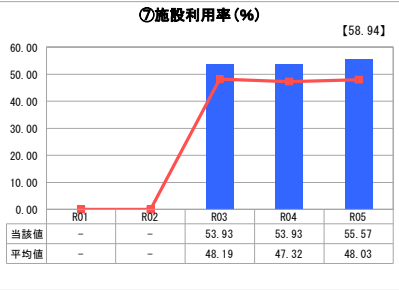
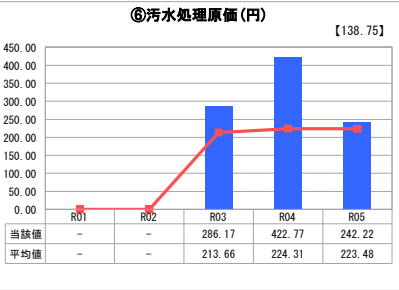
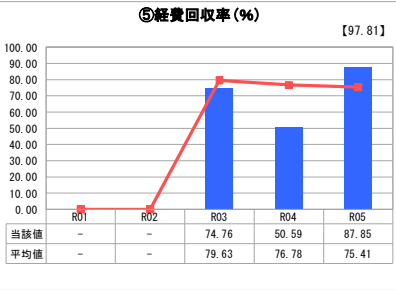
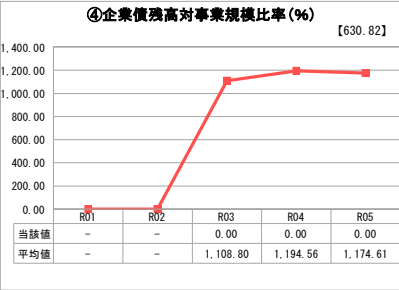
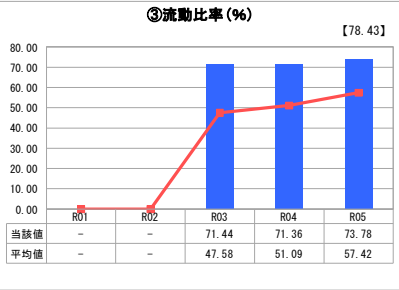
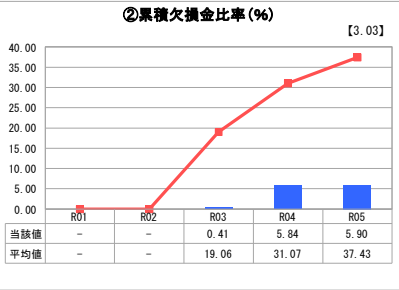
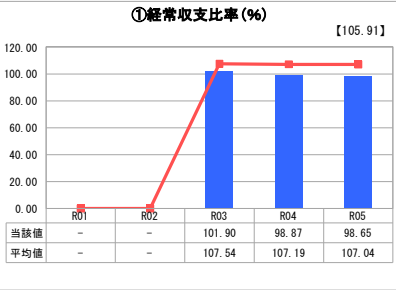
福島県 南会津町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	77.23	25.50	93.75	4,180

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,733	886.47	15.49
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,444	1.43	2,408.39

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

『①経常収支比率』は、減価償却費の影響が大きく、前年度に引き続き100%を下回り赤字となっている状況です。

また、『②累積欠損金比率』も赤字が解消できなかったことにより、前年同様、ほぼ横ばいとなっています。

『③流動比率』は、100%を下回っていますが、企業債償還金については一般会計からの繰入により補填されるため、経営に大きな影響はないと見込んでいます。

『⑤経費回収率』及び『⑥汚水処理原価』は、人件費に係る繰入金の減少により、大きく変動しており、今後とも繰入金の状況により大きく変動するものと予想されます。

『⑦施設利用率』は、類似団体平均値を上回る数値となっており、施設が有効的に活用されていると考えられます。

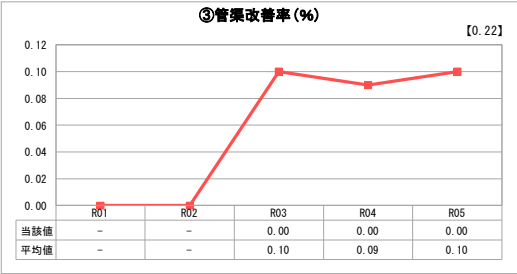
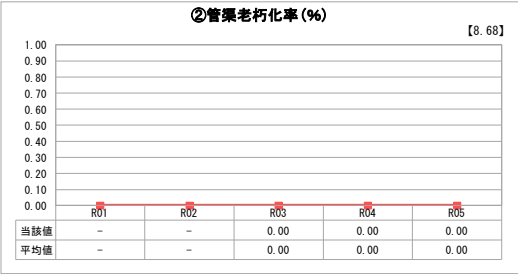
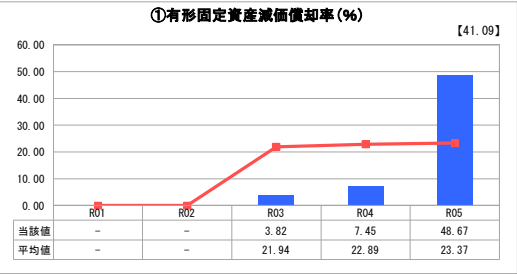
『⑧水洗化率』は、面整備がほぼ完了しており、接続人口と処理区域内人口が同様の割合で減少傾向にあることから、ほぼ横ばいで推移すると見込んでいます。

2. 老朽化の状況について

固定資産台帳の見直しを行った結果、減価償却率に大きな変動がありました。現在のところ管路の破損や老朽化による道路陥没等の報告はありません。

下水道処理施設は、供用開始してから20年以上が経過しており、今後一斉に更新時期を迎え、処理場や機械・器具設備の老朽化による更新費用がさらに増加すると見込まれることから、計画的な施設・設備の改築や更新を行っていく必要があります。

2. 老朽化の状況



全体総括

収益面については、人口減少に伴う有収水量の減少により、下水道使用料の減少が懸念されます。

費用面については、管路施設等の整備は概ね完了しているものの、施設の老朽化に伴う更新や故障・破損に伴う修繕費用の増加が見込まれます。経常経費の大半を占める修繕費や動力費が上昇傾向にある中、経常収益である下水道使用料が減少していることから、料金改定や抜本的な経営改善を講じなければ、次年度以降も赤字になることが予想されます。

安定した経営を行うためにも、使用料改定を視野に入れた長期的な経営改善が必要です。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。